

すばらしい土木技術をもういちど

# 第75回 EVENING THEATER

2013年10月9日(水) 18:00 開場 18:30 開演 参加無料  
土木学会 講堂 (JR中央線・地下鉄丸の内線・南北線「四ツ谷」駅下車徒歩5分)

## — 鉄道特集 —

### 街の一体化と安全のために

#### 目黒不動前～洗足間地下切替工事

解説 東急建設株式会社 首都圏土木支店 鉄道土木部 浦部克人

### 青函トンネル

解説 元日本鉄道建設公団 吉岡鉄道建設所所長 松下芳亮  
(土木技術映像委員会顧問)

HPにて参加申込み受付

<http://committees.jsce.or.jp/avc/>

土木学会は建設系CPD協議会に加盟しています。イブニングシアターは、CPDプログラム(2単位)です。

会員証でCPDポイントの自動登録が可能ですのでご参加の際にご持参ください。

問合せ先：土木学会土木図書館 土木技術映像委員会担当



# 上映作品

## 街の一体化と安全のために

### 目黒不動前～洗足間地下切替工事



土木学会選定映像  
第22回土木学会映画コンクール部門賞（技術映像部門）  
制作 2006年 20分  
企画 東京急行電鉄株式会社  
制作 有限会社教育映画社

東京急行電鉄株式会社は、交通渋滞の解消、地域の一体化、安全性の向上を図るため、1995（平成7）年より、東京都、品川区、目黒区にわたって目黒線の立体交差事業を進めました。この作品は、不動前駅付近から洗足駅付近までの延長約2.4kmを、2006（平成18）年7月1日深夜から翌日の未明にかけて、列車を運休することなく、一晩で地下トンネルへ切り替えた地下化切替工事を記録したものです。この工事によって、武蔵小山駅前の都道補助第26号線の踏切など16箇所の踏切がなくなり、踏切による交通渋滞が解消されました。鉄道立体交差に伴う線路の切替えは、仮線方式で行われるのが一般的ですが、この工事では仮線用地を必要としない「直下地下切替工法（STRUM）」を採用しました。「降下」「縦引き」「こう上」「引込み」といった切替え手順が分かりやすく解説され、2000人を動員して4時間余で成功を収めた切替え作業の貴重な映像が収録されています。地上から地下への切替えの様子がカメラの早回し映像によって表現されているため、鉄道利用者など一般の方々にも理解しやすい作品です。



## 青函トンネル

土木学会選定映像  
第12回土木学会映画コンクール最優秀賞作品改訂版  
制作 1989年 47分  
企画 日本鉄道建設公団（現鉄道建設・運輸施設整備支援機構）  
制作 北海道放送映画株式会社

今から25年前、1988（昭和63）年3月13日に青函トンネルは津軽海峡線として開業、供用開始されました。その5年前に先進導坑が貫通して本州・北海道は陸続きとなり、さらに1985（昭和60）年3月には新幹線断面での本坑が開通しました。2015年度の開業を目指し、現在、青函トンネルを通る北海道新幹線の建設が進められています。青函トンネルの歴史とはどのようなものか、そのトンネルはいかにして掘られたか、この作品は多くの現場フィルムを編集し、調査や工事の全工程を総集編の形で紹介した記録映画です。大胆な構想、克明な調査、そして4度の異常出水、異常な膨張性地山や海底中央部での不良砂質地山の出現等、自然条件との壮絶な戦いを克服して完成したことを知ることができます。新幹線トンネルを海底下に構築するため、人間の英知を結集したそのすばらしさは、単なる土木施工の記録のみならず、一般の方々にも深い感銘を与える作品として楽しんでいただけます。本作品は第12回土木学会映画コンクール（1986年）において最優秀賞を受賞した本坑貫通（1985年）時点までの工事記録作品（37分）に、その後開業（1988年3月）までの記録を追加して、調査開始の1964年から開業に至るまでを纏めて紹介した総集編です。